

佐久市子ども未来館リニューアル検討委員会 議事録

日時：平成 29 年 3 月 23 日（木）

14:00～16:00

場所：佐久平交流センター 第 3 会議室

1 開 会

2 委員長あいさつ

【委員長】

年度末になり大学でも卒業式があります。佐久市子ども未来館のリニューアルを心待ちにしている子どもたちのためにも、よろしく議論をお願いします。

3 部長あいさつ

【部長】

年度末のお忙しいところお集まりいただきありがとうございます。本日は未来館のあるべき姿の報告書とプラネタリウムの仕様書についてご承認をいただく予定となっております。

リニューアルに関しまして3月議会においてプラネタリウムのリニューアルについて議会の承認を得ておりますのでご報告いたします。来年度もよろしく願いいたします。

4 協議事項

(1) 佐久市子ども未来館のあるべき姿報告書について

【事務局】

より前回の資料から変更点を説明

2ページ1 (1) ②1点目、2点目、3点目を説明

3ページ1 (2) ①8点目、②9点目を説明

4ページ1 (2) ④5点目、最終にニーズ調査の結果を加筆、⑥4点目、⑦最終行を説明

5～6ページ2 (2) ①キーワードの変更、②ターゲット、③施設の役割について説明

7ページ3 (1) プラネタリウムで行うべき活動の具体例やハードに求める考え方を説明

8ページ3 (2) <現在の展示の活用方法><今後必要と思われる展示の要素>について説明

9ページ3 (3) <今後必要と思われる展示の要素>について説明

子ども未来館に対する女性の意見について平成28年度に子ども未来館に寄せられたアンケートの内女性の意見を抜粋した資料1-2により説明

団体利用の状況について資料1-3により説明

【質問・意見】

【委員】

3～4ページ、②最終の<共通>とはどういう意味か？

【事務局】

プラネタリウムの活動と科学体験工房等での活動に分けて記載しているため、両方に共通する内容として<共通>と言う表現。

【委員】

全体的な内容とかもう少し違った表現の方が伝わりやすい。

女性の意見はどの様に反映しているか。

【事務局】

基本的に、委員の皆様から頂いた意見と異なる意見は無かった。

【委員】

意見の中に子どもの手洗いに踏み台がなかったという意見があり、母親目線の意見と感じた。実際にリニューアルする時は考えなければならない。

【委員】

「学校教育においても事業時間を実験や観察に時間をさけなくなってきた。」という記載があるが規定の時間は学校で確保されていると思うので、ここの記載については記述を考えお伝えすると言うことで良いか。

【委員】

確かに学校で実験や観察を行っていないと取られてしまうかもしれないので表現の工夫が必要だと思う。

【委員】

子どもたちは実験や観察は面白くて好きなのですが、それをずっとやっている訳にはいかない。

【委員】

6ページ冒頭の「子ども科学館」とあるのは「子ども未来館」の間違えで良いか？

【事務局】

「子ども未来館」の間違えです。

【委員】

③の記載の部分で「宇宙・科学」という記載が多く出てくるのでキーワードとなると思うのでここに「自然」の言葉を加えて「宇宙・自然・科学」と入れてはどうか。

【委員】

科学の表現の中に技術と言う部分が捉えられない可能性があると思う、科学未来館では技術の部分も非常に大切になるので技術という言葉はどうか。

【委員】

先程の「自然」を加えると、「科学」の中に技術を感じるようになる。当然「サイエンス」の中には自然科学や科学技術は含まれるが、先ほどのように「自然」を加えることで「科学」の持つ意味として技術の意味合いが高まる。

【委員】

(3) リニューアルコンセプトの部分でも天文・科学の言葉が出てきているが今の議論を踏まえどうか。

【委員】

同じ表記が良いと思う。

【委員】

「宇宙・自然・科学の体験をとおして」とすると「宇宙体験」に違和感がある。

【委員】

「宇宙と自然を科学する体験をとおして」ではどうか。

【委員】

かなり細かな言葉の話になっているが、今日全て決めた方が良いのか。

【事務局】

基本は、本日決定していただければよいのですが、事務局にお任せいただける部分であればそれも可能と考える。

【委員】

今の意見を踏まえ事務局にお任せする。

8 ページの展示について、「参加体験型のワークシート」という記載がありますがこれはどういったものか。

【委員】

これは、館内を回って見て歩くと答えが分かったり、イベントなどでは順番に廻ることで答えが分かたり、展示に仕掛けをしておいて謎を解くような仕掛けなどとなる。

子どもたちは最終的に何かもらえると期待している。

【委員】

それでは、9 ページの施設活動ではどうでしょうか。科学実験工房などは広さを変えることはできないと思うが使い勝手と言う面ではどうでしょうか。

【事務局】

現在使い勝手が悪くてこう改善したいという事があれば記載しやすいのですがどうか。

【委員】

細かな部分はいろいろあるが準備室を少し広くして準備している姿を見せることも展示のひとつとする工夫もある。

【委員】

実験教室は人気があることがアンケートから分かる、リニューアルに併せて充実できればと感じる。

【委員】

アンケートの中で順番を守らない記述があり、参加する人と見る人の整理が上手くできるような配慮が出来ると思う。

【委員】

メインの話ではないが、例えば実験教室を英語で行うなど国際的な視点を入れた記載も必要だと思う。

【委員】

佐久市でも、英語教育を進める準備をしている。未来館で英語ボランティアなどがいれば、理科で利用する以外に外国語教育で利用するなど活用方法が広がると思う。

【委員】

国際的な視点の取り組みとしては、インターネットの活用も考えられる。空間自体が何かのイメージに繋がるなど全体のコンセプトを考えることが大切である。

【委員】

国際的な視点について6 ページの「コミュニケーション」の所へ入れればこの言葉が生きてくるのではないかと。

【委員】

女性のアンケートに「自閉症の子どもが自信を持てる場所です。」という声がありますがこう

いうハンディを持った子どもに対し配慮するような記述はないが不要なのか？

【委員】

自閉症以外にも、養護学校が団体で利用することもあり、親子で年に何回も利用される方もいて、障がいによって様々な楽しみ方をしているため様々な方々を対象とした方が良いと思う。

【委員】

未来館はバリアフリー化になっているのか。

【委員】

施設的なバリアフリーについてもそうですが、展示物も含めさまざまな方が楽しめる施設という考え方が必要だと思う。

【委員】

障がいのある子どもさんのお母さんにとっても必要な場所となっているということだと思う。

【委員】

5ページ③上から2つ目にどの年齢の子どもでも、「どんなハンディがあっても」と付け加えればよいと思う。

障がいの中には自分のペースが大切な子どももいて、自分のペースであれば楽しめるお子さんもいるので、そういった配慮ができる空間であればよいと思う。

【委員】

9ページ中段、平日昼間・学校対応活動の中で『学校では実施しがたい「みんなでやる実験』』とあるが何を指しているのかイメージできない。

【事務局】

前回の議論の中で学校ではできない実験があり、その実験を授業の一部としてみんなで未来館で行うことをイメージしている。

【委員】

確かにできない実験という話はあったが、それは補完しあえる取り組みとして行うという話であったと思うので、相互に連携して補完しあえる取り組みという記述でどうか。

【委員】

学校と連携した高度な実験とか、連携しながら補完しあえる取り組みを行えるというイメージで良いと思う。

【委員】

「高度な」とか「連携した」というところですが、前の議論でもあったように学校の実験の続きをやりたいという話だったり、樹木や植物などの実際に見たことのないものを見る機会であったりすることができる場所でもよいと思う。

【委員】

未来館が最先端の情報発信をするというコンセプトについてはどうか。

【委員】

8ページに最新情報が伝えられる展示という記載があるのでそこでどうか。

【委員】

最先端の科学技術を発信する場所になってもらえればと思う。

【委員】

バリアフリーについて、駐車場のバリアフリーについても問題になっています。立体駐車場か

らは車道を渡らなければいけないので、その部分についても今回のリニューアルに含まれるのか。

【事務局】

今回のリニューアルでは、基本的に建物の中を想定している。「今後検討する」部分に含まれるものとする。

【委員長】

「佐久市子ども未来館のあるべき姿報告書」については、本日いただいた意見を反映させて最終的に委員長一任でご了承いただきたい。

(2) 佐久市子ども未来館の愛称について

【事務局】

資料2を説明、愛称について各委員の投票結果を説明。

【委員】

商標登録などの権利関係を確認し投票1位となった作品を愛称とする。

(3) プラネタリウムのリニューアルについて

【事務局】

変更点について説明、仕様書中に座席の改修を加えている。

現在の座席数より少なくすることで改修方法の幅を広げたいと考えている。

「最良の条件における」など機械の性能を上げる表現を見直し、提案の自由度を広げたい。

【委員】

市内小学校は2～3学級が多く、一番大きい佐久平浅間でも4～5学級だと思う。実際の運営はどうか。

【委員】

大体の学校がクラス単位で利用するため、130席くらいあれば足りると思うが、土日やゴールデンウィーク、夏休みなどは入れない時もある。

【事務局】

夏休みなどは、通常より開催回数を増やしているが、プラネタリウムを見れずに帰る方も出ているため、ある程度の席数は必要と考える。

【委員】

いろいろな状況もあるが、最低限130席位という事で、工夫の中でそれ以上の座席数の提案があってもいいという事で良いと思う。

【委員】

前回資料の参考機種と比較で本体価格がだいぶ下がっていたのは附帯工事を含むのか、含まないのか。

【事務局】

概算工事費として見積もってもらっているので、現場に応じ工事費は大きく変わるが附帯工事費も含まれていると考えている。

【委員】

現場の人にとっては、メーカーが変わらない方が扱い方が変わらないのでありがたいと考えるが。

【事務局】

現在も、光学式とデジタル式は違うシステムで別々にしか動かすことができない。今回のリニューアルではハイブリットを考えているため両方を操作できる新しいシステムと考えている。

【委員】

現在の機種操作性やメンテナンスの取扱いなどを考えると現行機種のメーカーと随意契約で行う方法もあるのではないか。

【事務局】

今回は、プロポーザルを行う予定、金額の高い低いではなく、より良い機種を導入したいという事で優れた提案を採用したい。

【委員】

個人的な意見としては、より安いものを導入して、決められた予算の中で使わなかった分を展示なり施設なりに回したほうがよいと思う。

【委員】

機器などを導入する際は、「使いやすい機器であること。」という一文を入れておいたほうがよいと思う。

【委員】

(5) の制御・操作卓・自主製作システムのしようという所ではどうでしょうか。

【委員】

個別の項目で上げてしまうとその項目だけの配慮となってしまうため、全体を通じた配慮という一文が必要だと思う。

【委員長】

いい意見をもらえたと思います。このご意見を参考に資料の修正を行い最終的にはプロポーザル審査委員会で決定するという事でご承知おきください。

(4) その他

【事務局】

会議の日程について、メールアドレスの変更について説明

5 閉会

【事務局】

以上で第4回佐久市こども未来館リニューアル検討委員会を終了します。